全国連覇への道のりと結果

9月16日 関西CTL ①
六甲FB 94−3 芦屋クラブ

10月14日 関西CTL ②
六甲FB 62−5 ぎふ清流ラガーズ

11月4日 関西CTL 最終戦
六甲FB 69−29 名古屋クラブ

1月13日 全国クラブ大会 準決勝
六甲FB 38−29 神奈川タマリバ

1月20日 全国クラブ大会 決勝
六甲FB 49−0 北海道バーバリアンズ

日本選手権で共に戦おう！

～六甲クラブ2013年度新会員募集中！～

全国3連覇＆日本選手権1勝を
目指す六甲クラブは、
2013年度シーズン、共に戦う仲間を
広く募集しています。

◆関西方面に転勤になった方
◆一般企業に就職される大卒選手・高卒選手
◆クラブの環境でラグビーが本気で上手くなりたい選手
◆クラブ運営、マネジメントスタッフ

仕事を持っていても、真剣にラグビーに打ち込める環境が六甲クラブにはあります。

NO,RUGBY NO,LIFE

問い合わせはHPから▸▸▸ **http://www.rokkorugby.com**

プレーヤー・サポーターも募集しています！

個人後援会員	団体・法人会員	ユニフォームロゴ・スポンサー
年間会費　2,000円	年間会費　1口10,000円（原則2口以上）	年間50,000円～（要相談）（原則2年契約）
予定している特典 ・会報の送付 ・試合、行事などの案内 ・ファンの集いの案内、優待など	予定している特典 ・試合、行事などの案内 ・後援企業(団体)交流会 ・企業(団体)広告の掲載 ・ファンの集いの案内、優待など	予定している特典 ・ジャージー・パンツなどにロゴ ・団体、法人会員と同等の特典 ※詳しくはお問い合わせください。

◀サポーターの年会費と特典内容

お問い合わせは
特定非営利活動法人 六甲クラブ サポーター会員募集事務局（担当：山崎秀子）
お問い合わせはEメールにてお願いします。
e-mail:rokkoclub@hct.zaq.ne.jp　FAX:079-243-1156

HPからお申し込みください。 **http://www.rokkorugby.com**

六甲クラブGM 東田 哲也

今シーズンも1年間の応援・サポートを有り難うございました。お陰様で全国大会での連覇を達成することができました。この結果は選手・スタッフ・サポーターが一丸となって戦った結果だと思います。

今年度のチームは、鎌田キャプテンを中心に外国人選手と若手とベテランがバランス良く機能したチームとなり、クラブチャンピオンまでは目標通り理想的な結果を出すことが出来ました。しかし、日本選手権では予想外となる記録的な大敗を喫して屈辱を味わいました。ただ、来季に向けての課題もはっきりとしました。それはスクラムを中心としたセットプレーの強化です。クラブ大会では何とか通用しても、このレベルで戦うには、やはりラグビーはFWからだと改めて感じさせられました。いくら決定力のある自慢のBKでも攻撃が出来なければ試合になりません。これからはリクルートも含め、強力なFWを作っていくことが何よりも大切だと感じています。

来シーズンの3連覇は勿論ですが、更にその上を目指して社会貢献活動と共に皆様のご期待に応えられるよう努めて参ります。引き続きご支援のほど宜しくお願い致します。

WORLD　ナカシフ　HOTEL PLAZA KOBE　JTB　Perfect Trainers　私たちは、六甲ファイティングブルを応援しています！

Vol. 16 2013.3

ROKKO NEWS

http://www.rokkorugby.com

特定非営利活動法人
六甲クラブ

シーズン終了号

六甲は永遠に挑戦し続ける！

シーズン終了、ご声援ありがとうございました！

帝京大に115失点、屈辱忘れるな！

日本選手権大会 1回戦
2月2日(土)秩父宮

写真提供:平林昌憲さん

魂に刻み込め、「5−115」。

2年連続3度目の日本選手権に出場を果たした六甲ファイティングブルだったが、帝京大に19トライ、115点という大会新記録を喫して敗れ去った。トップリーグ並みの体格と環境・組織力を誇る学生チャンピオンに、決死のタックルを試みるが、FW戦で完敗。自慢のバックス陣が生かせなかった。それでも終了間際にはWTBトケが一死報いる意地のトライ。走り続けた2012年シーズンを締めくくった。

六甲ファイティングブル 5（0−56、5−59）115 帝京大

	六甲	帝京大
T	0	9
G	0	7
PG	0	0
前	0	59
T	1	10
G	0	3
PG	0	0
後	5	56
計	5	115

▽交代　餘野元哉㉔（大体大＝中江、江畑恒輝㉒（立命大）＝島田、李修平㉓（大体大）＝内山、外村政貴㉚（青学大）＝伊藤
六甲FB先発（）数字は年齢）

FW	村田	一（大産大）㉘
	加藤	賢太（明大）㊵
	南條	啓文（帝京大）㊵
	島田	亮助（京産大）㉚
	内山	裕介（立正大）㉔
	大内	崇史（同大）㉛
	奥野	宏成（帝京大）㉛
	鎌田	翔平（関学大）㉓
	伊藤	明範（同大）㉕
	中橋	太（関学大）㉔
HB	吉田	哲也（花園大）㉔
	リチャード	鉄平（大体大）㉓
	ケ	誠（大体大）㉘
TB	安田	将文（中大）㉖
	山下	康史（帝京大）㉖
	内山	良
FB	由良	

真っ暗になったロッカールーム。いつも陽気な男たちがガッチリ円陣を組んだ。

支えてくれた仲間、応援してくれた人たち、家族の笑顔が脳裏に浮かぶ。込み上げてくる情熱が涙となり頬をつたった。

「1年間やってきたことをグラウンドで出そう！」

鎌田宗史主将のゲキ一声、全国1000チーム、3万人のクラブラガーマンの誇りを背負って、22人の六甲戦士が日本選手権という夢舞台に飛び出していった。

しかし、夢舞台には厳しすぎる現実が待ち受けていた。

止まらない。何度決死のタックルに行っても学生チャンピオンは止まらない。

トップリーグ並みの環境と組織で、毎日の練習で鍛え上げられ、史上初の大学選手権4連覇を達成した帝京大の圧力は昨年以上に凄まじかった。学生特有のミスも少なく、どんな局面でも誠実に泥臭く六甲におそいかかる。

「あそこまでFWがやられては…。自慢のBKが生かせなかった」と東田GMも呆然とするほどの破壊力に、六甲ベンチも観客席も静まりかえった。

「仕事やクラブチームという環境を言い訳にしない」。

鎌田主将は今季のシーズン前から退路を断っていた。突き刺さり続けた小さな体は満身創痍。決戦にも痛み止めを打ち込んでの出場だった。何度トライを奪われても必死に立ち向かう六甲戦士たち。会場から「六甲！一本取れ！」の声援が響いた。

終了直前、鎌田主将のタックルからターンオーバー。劣勢だったFWが最後の力をふり絞ってボールをつなぐ。相手反則から速攻。SH橋詰が左に展開。SOリチャードから外村へ。外村は落ち着いて飛ばしパス。ボールはWTBシオネ・トケに回った。

タックラーを一人弾き返した。また一人交わした。

今季幾度となくトライを上げてチームを引っ張ってきたトンガの剛脚は、左太ももを痛めながらもライン際を爆走した。

試合終了を告げるホーンが鳴った。また一人交わした。

ゴールラインが見えた。両手を広げた。

六甲ファイティングブル2012年の戦いを締めくくるトライに、聖地・秩父宮ラグビー場の多くの観衆から惜しみない拍手が送られた。

「僕たちクラブには引退はありません。また来年、クラブ3連覇を成し遂げて、この舞台で帝京大学さんに挑戦したい」。

試合後のファンクションで鎌田主将は雪辱を誓った。今季も支えてくれた人々と一緒に戦いぬいたシーズンだった。「5−115」という『挑戦した証』を刻み込み、六甲ファイティングブルがまた走り始める。

スポーツ振興くじ助成事業
toto